



2016年2月26日

各 位

会 社 名 ナブテスコ株式会社
代表者名 代表取締役社長 小谷 和朗
(コード番号 6268 東証第1部)
問合せ先 総務部長 松本 敏裕
(TEL. 03-5213-1133)

ナブコシステム株式会社の株式取得（連結子会社化）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、以下のとおり、当社の持分法適用関連会社であるナブコシステム株式会社（以下、「ナブコシステム」といいます。）の株式を追加取得し、連結子会社化することについて決議しましたので、お知らせいたします。

1. 株式取得の理由

当社は、自動ドア事業において、国内事業基盤の更なる強化とグローバル事業の拡大を事業方針に掲げ、“利益ある成長”に取り組んでまいりました。2011年4月にはスイスの自動ドア事業会社である Kaba Gilgen AG 社（現 Gilgen Door Systems AG 社）を買収し欧州市場での橋頭保を築き、また、北米では販売会社を継続的に傘下におさめ事業拡大を進め、日本・欧州・北米・中国の四大自動ドア市場での事業体制を構築するに至りました。一方、国内では、自動ドアの顧客への販売・施工及びアフターサービスを担当するナブコシステム、ナブコドア株式会社及びオリエン特産業株式会社の3大メガ販社とともに、当社自動ドアブランドである「ナブコ」の下、日本全域をカバーするナブコグループを形成、50%超の市場シェアを有しており、日本市場を当社自動ドア事業の基幹をなす最重要市場と位置付けております。

2008年9月のリーマンショック及びその後の国内経済の成熟化は、日本の自動ドア市場に、(i)成長性の低下と量から質の追求へのシフト、(ii)安全性の向上を含む高付加価値機能ニーズの拡大、(iii)新規設置（ハード型）から保守・サービス・交換（ソフト型）へのシフト、といった構造的変化をもたらしています。このような変化に対応するには、市場のニーズを敏感・迅速に把握し、これに適応する付加価値製品とサービスを提供することが求められ、市場ニーズの把握から製品・サービスの開発と提供に向けて、バリューチェーン（開発・製造・販売・施工・サービス等）の構成者が効率的に一体となって取り組むことが、従来以上に必要となってまいりました。

上記の問題意識のもと、当社は2012年8月に、西日本地区（九州・沖縄を除く）を担当するメガ販社のナブコドア株式会社を完全子会社化しバリューチェーンの一体化を促進してまいりました。かかる動きを更に波及させ、長期に亘り“利益ある成長”を実現するためには、東日本地区を担当するメガ販社であるナブコシステムを加えてのバリューチェーン一体化を実現し、迅速な意思決定と事業遂行力向上を図っていくことが必要となります。当社は従前よりナブコシステムを持分法適用関連会社としていましたが、ナブコシステムの株式を追加取得して連結子会社化し、両社の連携を更に強化してバリューチェーン一体化の動きを全国規模で加速させていくことが、ナブコグループの更なる発展に資するものとの考えで、今般、ナブコシステムの大株主である山村泰三氏及び同氏が、大株主である有限会社泰永のそれぞれとの間で、ナブコシステムの株式を当社が譲り受ける旨の合意に至ったものです。

本株式取得により、市場のニーズへより迅速に対応すると共に、製販一体となった効率経営の実現を目指し、当社の株主の皆様並びにナブコグループのお客様各位のご期待に応えてまいります。

2. 異動する子会社の概要

(1)	名 称	ナブコシステム株式会社		
(2)	所 在 地	東京都港区虎ノ門一丁目 22 番 15 号		
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 山村 望		
(4)	事 業 内 容	自動ドアを中心とした、建設関連商品の販売・設計・施工・メンテナンス		
(5)	資 本 金	300 百万円		
(6)	設 立 年 月 日	1957 年 11 月 7 日		
(7)	大株主及び持株比率	山村 泰三	38.55%	
		ナブテスコ株式会社	37.25%	
(8)	上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	当社は、ナブコシステム株式会社の普通株式 223,520 株（持株比率 37.25%）を所有し、同社を持分法適用関連会社としております。	
		人的関係	当社の取締役 1 名及び従業員 1 名がナブコシステム株式会社の取締役を兼務しております。	
		取引関係	ナブコシステム株式会社は当社から自動ドアを仕入れております。	
(9)	当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態（単体）			
	決算期	2013 年 1 月期	2014 年 1 月期	2015 年 1 月期
	純 資 産	4,909 百万円	5,601 百万円	6,303 百万円
	総 資 産	11,168 百万円	12,572 百万円	13,402 百万円
	1 株 当 たり 純 資 産	8,323 円	9,495 円	10,685 円
	売 上 高	18,795 百万円	19,061 百万円	19,892 百万円
	営 業 利 益	916 百万円	1,078 百万円	1,367 百万円
	経 常 利 益	940 百万円	1,139 百万円	1,424 百万円
	当 期 純 利 益	451 百万円	795 百万円	820 百万円
	1 株 当 たり 当 期 純 利 益	830 円	1,409 円	1,497 円
	1 株 当 たり 配 当 金	175 円	200 円	200 円

(注) 当該会社は連結財務諸表を作成していないため、単体の経営成績及び財政状態を記載しております。

3. 株式取得の相手先の概要

(1)	氏 名	山村 泰三
(2)	住 所	東京都杉並区
(3)	上 場 会 社 と 当 該 個 人 の 関 係	資本関係、人的関係、取引関係等該当事項はございません。

(1)	名 称	有限会社泰永	
(2)	所 在 地	東京都杉並区和泉二丁目 9 番 1 号	
(3)	上 場 会 社 と 当 該 会 社 の 関 係	資本関係	該当事項はございません。
		人的関係	該当事項はございません。
		取引関係	該当事項はございません。
		関連当事者への該当状況	該当事項はございません。

4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	普通株式 223,520 株 (議決権の数：223,520 個) (議決権所有割合：37.9%)
(2) 取得株式数	普通株式 249,120 株 (議決権の数：249,120 個) うち、山村泰三からの取得：231,270 株 (議決権の数：231,270 個) 有限会社泰永からの取得：17,850 株 (議決権の数：17,850 個)
(3) 取得価額	3,239 百万円
(4) 異動後の所有株式数	普通株式 472,640 株 (議決権の数：472,640 個) (議決権所有割合：80.1%)

5. 日程

(1) 取締役会決議日	2016年2月26日
(2) 契約締結日	2016年2月26日
(3) 株式譲渡実行日	2016年4月1日(予定)

6. 今後の見通し

本株式取得に伴う当社の連結業績及び財務状況に与える影響につきましては現在精査中であり、今後公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以上

(参考)

当期連結業績予想(2016年2月12日公表分)及び前期連結実績

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
当期連結業績予想 (2016年12月期)	250,000	25,500	27,000	18,900
前期連結実績 (2015年12月期)	187,000	15,294	16,418	11,059

当期連結業績予想(2016年2月12日公表分) 連結セグメント情報

(百万円)

	精密機器	輸送用機器	航空・油圧機器	産業用機器
売上高	61,000	65,500	47,400	76,100
営業利益	8,800	11,200	0	5,500

(注) 2015年12月期は決算期変更の経過期間であったことから、従来3月決算であった会社は9ヵ月間(2015年4月1日～2015年12月31日)、従来より12月決算の会社は12ヵ月間(2015年1月1日～2015年12月31日)を連結対象期間としております。